

令和4年度モニタリング評価表

モニタリング評価表

施設名 浦安市国際センター

指定管理者名：公益社団法人青年海外協力協会・  
一般社団法人協力隊を育てる会 共同事業体

令和5年5月29日

	営業日数	利用者数				収入額(指定管理料を除く)		
		個人 (交流サロン等利用者)	団体 (研修室利用者)	年間利用者 (見込)	達成率 (①+②)/(見込)	施設利用料 (利用料金収入)	他収入 (自主事業収入等)	計
今年度	306日	4,817人①	13,728人②	18,545人 (20,000人)	92.7%	892,540円	1,740,950円	2,633,490円
前年度	304日	3,489人①	9,117人②	12,606人 (17,000人)	74.2%	785,670円	1,614,220円	2,399,890円

(注1) 達成率は、事業計画書に年間利用者の目標人数等を掲げた施設のみ記載します。

(注2) 施設利用料は、該当する施設のみ記載します。

(1) モニタリングの内容

- ① 評価の視点を参考に、各評価項目を総合的に評価します。
- ② 協定書や仕様書等で実施することになっている事業等を規定どおりに実施した場合を2点(標準)とします。
- ③ 協定書や仕様書等の内容以上の取り組みや優れた成果が見られた場合に3点とします。
- ④ 協定書や仕様書等に定められた事項が様々な事情で実施できなかった又は予定した水準に到達していない部分がある場合は1点とします。
- ⑤ ③又は④に該当する場合は、その評価を行った理由を評価意見欄に記載します。
- ⑥ 四半期モニタリングでは、その時点での評価を行います。

\* 施設の性質や設置目的等により、評価の視点を追加変更します。

分類	NO	評価項目	評価の視点	指定 管理者 評価	施設 所管課 評価	評価意見（加点・減点した場合に記載）
総則事項	1	設置目的の達成	・施設を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果を得られている。	<u>2</u>	<u>3</u>	<p>（指定管理者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に浦安在住外国人会（UFRA）が解散となったため、3つのクラスが一般市民団体として独立し、継続して講座を実施することとなった。</li> <li>・12月より日本語学習支援教室の新規申し込み受付が国際センターに移管された。</li> <li>・3月は、国際センターフェスティバルを開催した。午前中は、市内の外国人の方に協力していただき、外国語での絵本の読み聞かせの企画を実施した。午後は、群馬県大泉町を舞台とした映画、「サンゴーヨン★サッカー」の上映会を開催した。</li> <li>・自主事業として、千葉県 JICA シニアボランティアの会による特別講演会（共催）、シニア英語を開催したほか、令和4年度より日本語ボランティア養成講座（全5回）を実施し、新たに23名が日本語学習支援者として登録された。</li> <li>・アウトリーチとして、浦安中学校の社会人講座で国際理解について授業を全3回で実施した。</li> <li>・「一元的外国人相談窓口」では、年間で69件の相談があった。日本語学習支援教室の受付業務が始まったことにより、日本語学習に関する相談が28件と多くなった。</li> </ul>

						<p>(所管課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・UFRA 解散後も所属していた会員の受け皿となり、外国人市民が孤立しないよう働きかけている。</li> <li>・日本語学習支援教室の新規申し込み受付移管後も、大きな混乱もなく、また申込者の増加傾向も見受けられた。</li> </ul>
総則事項	2	業務従事者の要件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務執行体制(各業務・作業責任者等)が明確になっている。</li> <li>・従事者の変更があった場合は速やかに市に報告している。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務分掌を作成し、各職員の業務担当を明確にしている。</li> <li>・8月に職員の変更があり、速やかに市に報告した。</li> </ul>
総則事項	3	報告書提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令等で定められた書類が提出されている。</li> <li>・年度当初に業務計画書、収支予算書が提出されている。</li> <li>・年度末に事業報告書、収支決算書が提出されている。</li> <li>・報告書の内容に不備は無い。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>1</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月別、四半期別に報告書を提出した。</li> <li>・令和3年度事業報告書・収支決算書及び令和4年度事業計画書・収支予算書を期限通りに提出した。</li> <li>・職員間で報告書をチェックし、不備がないよう確認している。</li> <li>・研修室使用料の報告・支払いが滞ってしまった。</li> </ul> <p>(所管課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修室使用料の納入について、納入期限が遅れたものがあつた。今後は遅滞のないよう使用料を納付するよう指摘し、以降は滞りなく報告・支払いがされている。</li> </ul>

総則事項	4	意思疎通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市と指定管理者との間で適宜十分な連絡、打合せがなされている。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、市所管課担当者とモニタリングを開催している。毎月の状況を報告し、国際センターの運営について協議している。</li> <li>・また、モニタリング以外にも必要に応じて日頃から連絡を取り合い、連携を図っている。</li> </ul>
総則事項	5	広報関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の案内表示等が適切になされている。</li> <li>・パンフレット類が整備されている</li> <li>・ホームページが見易く、適宜更新されている。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内に日本語、英語で案内表示をしている。</li> <li>・国際交流に関する団体のイベント等のチラシ、広報誌、パンフレットを設置している。</li> <li>・イベントの周知・実施報告をホームページ上や会員制のメールマガジンで行い、定期的に更新・配信している。</li> <li>・外国人市民に対し、生活に関する情報をやさしい日本語、英語で作成し、ホームページ上に公開し、随時更新している。</li> <li>・日本語学習支援教室の開催状況、空き状況をホームページに公開している。</li> </ul>
総則事項	6	職員の接客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の服装やマナー、言葉遣いは適切である。</li> <li>・利用者への案内や説明は適切に行われている。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性職員は襟付きのシャツを着用し、女性職員についても公共施設にふさわしい服装で職務に当たった。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染防止のため、職員は常時マスクを着用した。</li> </ul>

						<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人相談で来館された方には、適切な説明を行い、必要であれば、他の機関・団体を紹介した。</li> </ul>
維持管理事項	7	各種管理記録等の整備・保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種業務計画書、点検記録が適切に整備、保管されている。</li> <li>・施設の修繕、事故等の履歴が整備、保管されている。</li> <li>・業務日誌等の報告書が整備、保管されている。</li> <li>・加入している保険を市に報告している（傷害保険等）</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>（指定管理者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの指定管理運営に関する書類を全て適切に保管している。</li> <li>・業務日誌、その他報告書類についても年度ごとにファイリングし、保管している。</li> <li>・施設内保険を市に報告している。</li> </ul>
維持管理事項	8	取扱説明法定点検定期点検修理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器等の取扱説明書が適切に整備・保管されている。</li> <li>・法定保守点検は点検内容、時期等が法令基準に基づいて実施され、選任資格者の責任によって計画・実施されている。</li> <li>・点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っている。</li> <li>・不都合が生じた場合の報告を適切に行い、修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告している。</li> <li>・修繕工事は適切に行われ、市に報告している。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>（指定管理者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機材の取扱説明書については、まとめてファイリングし保管している。</li> <li>・施設内の点検を毎日実施し、月末にマーレビル管理室に報告している。</li> <li>・研修室内の壁の破損等については、補強を行う等自主的に修繕している。</li> </ul>

維持管理事項	9	清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の清掃が、適切に行われている。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、施設内の机・椅子をアルコールで拭き、部屋の換気をした。</li> <li>・施設の使用後は、使用者に机、椅子のアルコール消毒を実施した。</li> <li>・月末には研修室及び交流スペースの椅子を拭き掃除した。</li> </ul>
維持管理事項	10	計画書等 鍵管理 防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務が計画書に基づいて実施されている。</li> <li>・不審者に対するの適宜質問、警察へ通報する等マニュアルを作成している。</li> <li>・マスターキー等は、適切に管理されている。</li> <li>・防災マニュアルが作成されている。</li> <li>・災害時の職員配備体制が明確になっている。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとに年間計画書を作成し、それに基づき事業を実施した。</li> <li>・不審者に対しては、職員間及びマーレビル管理室と情報共有し、また、緊急時に素早く連絡ができるよう、電話に警察・管理室につながるショートカットを設定している。</li> <li>・マスターキーについては、キャビネットに鍵をかけて保管している。</li> <li>・防災については、マーレビル全体の防災マニュアルに基づいている。定期防災訓練に毎回参加した。</li> <li>・災害時の職員配備体制についても、緊急時対応の連絡表を作成し、執務室内に掲示している。</li> </ul>
維持管理事項	11	樹木管理 花壇管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽の手入れが行き届いており、適切に管理されている。</li> </ul>	<u>評価なし</u>	<u>評価なし</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター内には管理する植木・花壇は設置していない。</li> </ul>

運営関連事項	12	非常時・緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態発生時の対処マニュアルが整備、保管されている。</li> <li>・緊急事態発生時や危険が予測された場合、直ちに措置を講じ市に報告した。</li> </ul>	2	2	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーレの防災・避難訓練に毎回参加した。</li> <li>・浦安市消防本部で開催される救命救急法及び AED の講習会参加している(昨年度までに職員3名修了)。</li> <li>・緊急連絡網については、変更があった場合に速やかに更新している。</li> <li>・緊急事態発生時については、その都度、市担当課へ連絡、確認、報告している。</li> </ul>
運営関連事項	13	個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者等の個人情報を保護するための対策が適切に実施されている。</li> </ul>	2	2	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿等の個人情報については、キャビネットに保管し、毎日鍵をかけて保管している。</li> </ul>
運営関連事項	14	業務関連情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で情報を共有化する機会が設けられている。</li> <li>・ヒヤリハット事例等が施設内で共有化されている。</li> </ul>	2	2	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月職員会議を開催し、情報共有する機会を設けている。また、毎日の業務についても随時、報告、相談した。</li> <li>・懸案事項やトラブル等があった場合には、日報に記入し情報共有している。また、その対応については職員内で検討した。</li> </ul>
運営事項	15	機器管理、システム管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を実施している。</li> <li>・更新・変更は常になされている。</li> <li>・トラブルが起きた場合、適切に処置している。</li> </ul>	2	2	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備、機器は適切に保守整備し、トラブルの際は業者に連絡し、対応している。</li> <li>・システム管理については、担当者を配置している。</li> <li>・今年度は、システム上のトラブルはなかった。</li> </ul>

運営事項	16	管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者が安全に快適に使用できている。</li> <li>・ 利用者からのクレーム対応は適切に行った。</li> <li>・ 利用者アンケート等の結果から、施設利用者の満足が高い。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職務スペースから来館者が見渡せるように机を配置し、運営している。</li> <li>・ クレームについては適切に対応し、市に報告している。利用者からのクレームはなかった。</li> <li>・ イベント終了後はアンケートを実施し、次回以降のイベント開催の際の参考とした。いずれの事業も満足度の高い評価を得ている。</li> </ul>
運営事項	17	平等利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者が限定されない場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されている。</li> <li>・ 利用者が限定される場合、利用者の選定が公平に行われている。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際センター研修室については、年間を通して利用件数の多い浦安国際交流協会 (UIFA) の利用予定を事前に把握し、他の登録団体の利用が競合しないように調整している。</li> <li>・ 研修室の使用のみ登録制を敷いている。登録は国際交流等を目的に活動している団体とし、書面にて申請、最終的に市に提出して登録証を発行することとしている。</li> <li>・ 交流サロンについては、利用について案内板を設置し、多文化交流のために使用するスペースであることを来館者に周知している。</li> </ul>



運営事項	18	職員体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営にあたる人員の配置は合理的である。</li> <li>・職員の資質・能力向上を図る取組みがなされている。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際センター管理・運営規定」に基づき9:00～21:00まで早番・遅番にシフトを分け、人員配置している。最低でも1名の職員及びアルバイトスタッフ1名の計2名体制になるようシフトを組んでいる。</li> <li>・職員の持病を鑑み、来客対応時に問題が起こらないよう、当該職員が勤務する際は3名体制とした。</li> <li>・入国管理局が実施する外国人相談のオンライン研修への参加等、業務に関する研修の受講を推奨している。</li> <li>・職員1名が日本語教師の資格を取得した。</li> </ul>
運営事項	19	事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に基づいた事業が実施されている。</li> <li>・施設の設置目的に沿った、自主事業が実施されている。</li> </ul>	<u>2</u>	<u>2</u>	<p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に基づいた事業を実施できた。</li> <li>・自主事業については、事業ごとに企画書を作成し、市に企画内容が施設の設置目的に沿っているかについて確認をすることとしている。</li> </ul>

○自主事業の実施について

提案事業名	実施の可否	参加者数 (計画)	参加者数 (実績)	参加率 (%)	実施内容・結果に関する所見・指摘《市記載欄》
4月展示 「タイのソンクラーン～水かけ祭～」	可	-	-	-	・タイで開催されるソンクラーンについて、解説パネルを作成し、展示した。
5月展示 「インドネシアと周辺の島国」	可	-	-	-	・インドネシアをはじめとした、東南アジアの島国について解説パネルを作成し、展示した。
6月展示 「カナダの風景」	可	-	-	-	・カナダに滞在経験のある職員の写真や民族衣装を展示した。
7月展示 「日本で見つける中南米の観光地」	可	-	-	-	・中南米の観光地にそっくりな日本の風景を対比する形で展示した。
8月展示 「世界の団扇」	可	-	-	-	・世界にある団扇について解説パネルを作成し、展示した。
9月展示 「世界の文字と言葉」	可	-	-	-	・世界の様々な文字と言葉について紹介するパネルを作成し、展示した。
10月展示 「世界の秋祭り」	可	-	-	-	・世界各国で開催される秋の祭りについて解説パネルを作成し、展示した。
11月展示 「FIFAワールドカップ2022 カタール大会」	可	-	-	-	・サッカーワールドカップの開催情報や日本代表と対戦するチームの紹介、対戦結果を展示した。

12月展示 「世界のクリスマス料理」	可	-	-	-	・各国でクリスマスの時期に食べられる食事について解説パネルを作成し、展示した。
1月展示 「書道展」	可	-	-	-	・日本語学習支援教室の学習者を対象に、書道体験をしていただき、その作品を展示した。
2月展示 「世界の巻き料理」	可	-	-	-	・世界にある、具を巻いて食べる食事について、解説パネルを作成し、展示した。
3月展示 「2022年度を振り返って」	可	-	-	-	・2022年度に開催した自主事業について、カレンダーを作成し、展示した。

提案事業名	実施の可否	参加者数(計画)	参加者数(実績)	参加率(%)	実施内容・結果に関する所見・指摘《市記載欄》
令和4年10月2日(日) 多文化共生連続講座 第1回「浦安市の多文化共生の現状と多文化共生推進プランについて」	可	30人	23人	76.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年3月に策定された「浦安市多文化共生推進プラン」について、浦安市地域振興課の杉本係長に説明いただいた。</li> <li>・浦安市の外国人数の推移、国籍別の上位等についての報告や国の動向等についての報告があった。</li> <li>・質問では、現場からの意見も出され、積極的な意見交換がなされた。</li> </ul>
令和4年10月30日(日) 多文化共生連続講座 第2回「医療通訳ボランティアの活動」	可	30人	25人	83.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順天堂大学より、大野直子先生をお招きし、医療通訳ボランティアの活動全般について紹介いただいた。</li> <li>・講義では、実際にどのように通訳するかといった体験型ワークショップも開催され、実践的な内容となった。</li> <li>・英語のレベルがある程度求められる内容だったため、少し専門的な内容になった。</li> </ul>
令和4年12月11日(日) 多文化共生連続講座 第3回「医療通訳ボランティアのためのやさしい日本語」	可	30人	26人	86.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順天堂大学より、武田裕子先生をお招きし、医療現場で求められるやさしい日本語についてワークショップを通して学ぶ機会とした。</li> <li>・市内在住の外国人の方、4名に協力していただき、日本語がわからない外国人を演じていただいた。医療用語や外国人には伝わりにくい日本語の表現などを、参加者が頭をひねりながらやさしい日本語に言い換える作業をワークショップで開催した。</li> <li>・外国人協力者の方には、事前に学習会を開催し、どのように模擬患者を演じればいいのか、入念な準備をした。</li> <li>・参加者からは、非常に勉強になったと好評の意見を多くいただいた。</li> </ul>

令和4年5月7日 千葉県JICAシニアボランティアの会 特別講演会（共催）	可	30人	24人	80%	・千葉県JICAシニアボランティアの会と共催で「香港からみた中国」と題し、公演会を開催した。
令和5年3月26日（日） 国際センターフェスティバル	可	午前：40人 午後：30人	64人 6人	160% 20%	・国際センターフェスティバルとして、1日がかりのセンターイベントを開催した。 ・午前は、浦安市在住の外国人の方々に協力をお願いし、外国語での絵本の読み聞かせを開催した。多くの親子連れが参加し、盛況のうち終了した。 ・午後は、外国人が多く住む群馬県大泉町を舞台とした映画「サンゴヨーン★サッカー」の上映会を開催した。雨だったこともあったためか、申込者20人に対し、実際に参加したのは6人だった。
令和4年8月27日、9月4, 11, 18, 25日（日） 日本語ボランティア養成講座（全5回）	可	30人/回 計150人	106人	70.7%	・日本語ボランティア養成講座は、今年度から浦安市国際センターが主催して開催することとなった。 ・講師に東京にほんごネット代表の有田玲子氏をお招きし、ボランティアに必要な心構えから、日本語支援に必要な日本語の知識等について学ぶ講座となった。 ・受講者のほぼ全員が、UIFAの日本語ボランティアとして登録し、半数はボランティアとして活動をスタートさせた。
令和5年1月15, 22, 29日（日） 日本語ボランティアフォローアップ研修 （全3回）	可	30人×3回 90人	26人	28.9%	・UIFAの日本語ボランティアを対象としたフォローアップ研修を開催した。講師は、養成講座を担当した東京にほんごネット代表有田玲子氏をお願いした。 ・講座は大変好評いただいたが、開催の告知が1か月前だったことが要因だったのか、想定していた参加者よりも少なかった。次年度は、日程を確定し、スケジュールを先にUIFA側に知らせるよう準備することとする。

<p>令和4年6月7, 21日、7月5日（火）</p> <p>センター外事業</p> <p>浦安中学校 社会人講座「国際理解」</p>	可	-	78人	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦安中学校の社会人講座の講師として、国際理解の授業を担当した。</li> <li>・1回目は多文化共生についての講義、2回目は世界の布とその布を使ったマグネット、くるみボタンづくり、3回目は、民族衣装の紹介と実際にその衣装を着て体験する機会とした。</li> <li>・最初はあまり積極的に起用とする生徒はいなかったが、徐々に場も盛り上がり、楽しんでいる様子が伺えた。</li> </ul>
<p>令和5年1月24日（火）</p> <p>センター外事業</p> <p>東京学館浦安高校特別授業： 「JICA海外協力隊経験者による国際理解講座」</p>	可	-	60人	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年。協力隊経験者の講師を紹介している東京学館浦安高校の特別授業に、今年度も協力隊経験者の講師を紹介した。</li> <li>・コロナ禍以降、オンラインでの授業となっていたが、今回から完全対面式での実施となった。</li> <li>・国際センターからも職員が1名同行し、高校の担当教員、校長と挨拶し、引き続きの協力について確認することができた。</li> </ul>
<p>令和5年3月8日（水）</p> <p>センター外事業</p> <p>日の出南地区児童育成クラブワールドビュー 「中米の国々の紹介」</p>	可	-	65人	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日の出南地区児童育成クラブにて、中米の国について、1年生から6年生の児童に紹介した。</li> <li>・コロナ禍以降、中止となっていたが、今回から再開され、対面式で実施した。</li> <li>・中米の国の生活や文化の紹介に加え、民芸品や民族衣装も持参し、自由に触り、試着する時間を設け、楽しく外国の文化に触れる様子が見られた。</li> </ul>

提案事業名	実施の可否	参加者数 (計画)	参加者数 (実績)	参加率 (%)	実施内容・結果に関する所見・指摘《市記載欄》
シニアのためのゆっくり学ぶ英会話 「初級」(毎週・月)	可	計30回 総数330名	234人	70.9%	・シニア層向けの英会話を通してコミュニケーションを学ぶ講座として開講した。 ・予定通り全30回のレッスンを対面式で実できた。
シニアのためのゆっくり学ぶ英会話 「初級」(毎週・火)	可	計30回 総数300名	245人	81.7%	・シニア層向けの英会話を通してコミュニケーションを学ぶ講座として開講した。 ・予定通り全30回のレッスンを対面式で実できた。
シニアのためのゆっくり学ぶ英会話 「初級」(毎週・水)	可	計30回 総数360名	324人	90%	・シニア層向けの英会話を通してコミュニケーションを学ぶ講座として開講した。 ・予定通り全30回のレッスンを対面式で実できた。
シニアのためのゆっくり学ぶ英会話 「入門」(毎週・木)	可	計30回 総数360名	287人	79.7%	・シニア層向けの英会話を通してコミュニケーションを学ぶ講座として開講した。 ・予定通り全30回のレッスンを対面式で実できた。
シニアのためのゆっくり学ぶ英会話 「入門」(毎週・金)	可	計30回 総数360名	278人	77.2%	・シニア層向けの英会話を通してコミュニケーションを学ぶ講座として開講した。 ・予定通り全30回のレッスンを対面式で実できた。

○総評（総合的に判断した管理運営に関する評価・コメント）

・ 指定管理者

< 年間の総評 >

**総利用者数 18,545 人 【個人利用 4,817 人】 【研修室 13,728 人】**

- 1) 令和4年度の総利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まったことで、国際センターの利用制限も緩和され、前年度より増加した。
- 2) 昨年度に引き続き「多文化共生連続講座」を3回シリーズで開講した。今年度は「外国人支援の現場から」をテーマとして取り上げた。第1回は浦安市市民経済部地域振興課文化国際係より、浦安市の外国人の推移や多文化共生推進プランについて講義いただいた。2回目以降は、医療通訳ボランティアをテーマに開催した。
- 3) 「国際センターフェスティバル」は、3年ぶりに完全対面式で開催した。特に、午前中に開催した外国語での絵本の読み聞かせの企画では、市内在住の外国人の方に協力いただき10名の方が読み手として参加した。
- 3) 外国人相談窓口の相談件数は69件だった。12月より日本語学習支援教室の受付業務を引き継いだことにより、日本語学習の相談が多くなった。昨年度多かった医療に関する相談は新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなったためか、相談件数は減った。
- 4) 在住外国人の生活支援に関する情報提供をホームページで行った。ワクチン接種に関する情報等をやさしい日本語、英語に訳し、ホームページ上で公開した。また、日本語学習支援教室の空き状況について、ホームページで確認できるよう情報を掲載、随時更新した。
- 5) センター外事業としては、浦安中学校での社会人講座、東京学館浦安高校での特別授業、日の出南地区児童育成クラブでのワールドビューに講師として参加することができた。外部に出向いて国際理解講座を実施したのは3年ぶりとなった。
- 6) 2022年度は、新たな第5フェーズがスタートした。これまで指定管理者として国際センターの管理運営にあっていた（公社）青年海外協力協会に加え、新たに（一社）協力隊を育てる会が加わり、共同事業体として国際センターを運営した。新たな事業として、日本語学習支援教室の受付業務を浦安市より、また、日本語ボランティア養成講座・フォローアップ研修をUIFAより引継ぎ実施した。日本語学習支援教室の受付業務は、国際センターが夜9時まで、土日は17時まで開館していることから、以前は仕事などで受講したくてもできなかった学習希望者を受け付けることができた。また、教室が空いていない場合は待機者リストに登録し、教室に空きが出た際には優先して待機者へ教室を案内できるよう整備した。2023年度は、新たに浦安市に移り住む外国人に向けたオリエンテーションの実施や、日本語が困難な小中学生児童に向けた日本語学習支援の検討を進める予定となっている。今後も、国際センターが「多文化共生のまちづくり」の拠点となるよう市所管課と連携しながら、また、UIFAとはじめとした市民団体と協力しながら多文化共生を推進していく。



7) 令和4年度に実施した自主事業について、参加者にアンケートを実施した。対象となった多文化共生連続講座（全3回）、シニア英語、日本語ボランティア養成講座及びフォローアップ研修において未記入者9名を除き、全員が「非常に良い」、「良い」と回答した。特に、医療通訳ボランティアのワークショップとして開催した多文化共生連続講座の第3回目は、市内在住の外国人市民の方々に模擬患者を演じてもらい、参加者から高い評価をえることができた。これまでの多文化共生連続講座は、日本人市民向けの講義形式での開催が多かったが、外国人の方に協力していただいたことにより、より実践的な内容となったことが高評価につながったものと考えられる。また、3月に開催した国際センターフェスティバルにおいても、絵本の読み聞かせのイベントに読み手として10名の外国人の方々に読み手として参加していただいた。こちらのイベントについても多くの参加者から好評を得ることができた。アンケートから参加者は、外国人との交流、講座やワークショップにおいての外国人の参加を望んでいる参加者が多いことが読み取れる。国際センターとしては、より多くの外国人市民を巻き込んだ講座やイベントを開催できるよう尽力する。

・施設所管課

新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、利用者数は目標の 92.7%となったが、令和3年度と比較して 6,000 人弱 (+47.1%) の増加となった。また、浦安在住外国人会の解散後は外国人市民の受け皿となり、新たな指定管理期間の開始年度として、評価できる1年であった。

令和4年度より、日本語学習支援教室の受付業務が国際センター業務に移管されたが、大きな混乱もなく、また待機リストを新たに設けることにより申込者の利便性が向上し、申込件数の増加が見受けられた。日本語ボランティアの養成も国際センター業務に追加され、全5回の養成講座を通して23名の新規ボランティア登録に至った。また、既存ボランティアのスキルアップを目的としたフォローアップ研修も実施したが、こちらは周知期間の不足などにより、多くの参加とはならなかった。令和5年度においては、周知期間及び内容の見直しを図り、より多くのボランティアの参加を促進されたい。

外国人相談窓口については、69件の利用があり、新型コロナウイルス感染症関連の相談が落ち着き、日本語学習や通知の翻訳補助、書類の申請補助などが多くあった。ホームページにおいては、新型コロナウイルス感染症情報や生活支援情報を英語及びやさしい日本語で情報発信し、外国人市民の生活の一助として機能していた。

上記のとおり事業内容等においては優れた取り組みが見られた一方で、研修室使用料の報告・支払いに遅れが見られたため、指摘を行った。今後は遅滞のないよう報告・支払いをすることとし、施設所管課としても適宜状況確認をしていく。

令和4年度から新たな指定管理者期間（令和4年度～令和7年度）が開始となり、事業者も公益社団法人青年海外協力協会・一般社団法人協力隊を育てる会共同事業体へと変更となった。今後も両者のこれまでの事業で獲得してきたノウハウを生かし、国際センターの管理運営を通して本市の多文化共生社会推進に寄与していきたい。